

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

調査票 P6

1 種苗費

(1) 種子 (購入)

品 種 名	数 量	単位	金 額 (円)				
計		—		万	千	百	十
			3	5	0	0	0

(2) 種子 (自給)

品 種 名	数 量	単位

種苗費 (購入金額)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種苗費の補助科目として「種子代」を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
種子代				35,000	

種子の購入及び自給数量

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費

(1) 購入

資 材 名 等		数 量	単位	金 額 （ 円 ）					対象品目 負担割合 (%)	備 考 欄
計			—		万	千	百	十		
窒 素 質	ノウスイ硫安	1000	kg		4	7	0	0	0	2 5
りん 酸 質										
カ リ 質										
け い 酸 質										
(炭 酸 灰 含 む シ ウ ム)										
複 合 肥 料	パワー△△号	10020	kg		7	1	6	4	3	0 2 5
土 壌 改 良 資 材										
たい肥・きゅう肥		500	kg			1	0	7	5	2 5
そ の 他			—			9	0	0	0	2 5

※融雪剤として使用した
分は「5 諸材料費」
に記入してください。

微生物資材、液肥、農
薬入り肥料、ペースト
肥料、苦土質肥料、微
量要素肥料、有機質肥
料など

肥料費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。
また、肥料費の補助科目として「窒素質肥料」「複合肥料」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
種子代				35,000	
肥料費				773,505	
窒素質肥料				47,000	
複合肥料				716,430	
たい肥・きゅう肥				1,075	
その他				9,000	

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費（続き）

(1) 購入

資 材 名 等	数 量 (kg)				対象品目 負担割合 (%)
計	万	千	百	十	
た い 肥					
き ゆ う 肥					
稲 ・ 麦 わ ら			5 6 0		2 5
そ の 他					

3 農業藥劑費

資 材 名 等		金 額 （ 円 ）					対象品目 負担割合 (%)	備 考 欄	
計				万	千	百	十		
殺 虫 剤									
殺 菌 剤	〇〇乳剤			4	9	0	7	0	2 5
殺 菌 剤									
除 草 剤	△△フロアブル			5	1	5	9	3	6 2 5
そ の 他									

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

自給肥料の投入量

「農業簿記 11」では対応していません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業薬剂費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**畑作部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入していません。
また、農薬費の補助科目として「殺虫剤」「殺菌剤」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
肥料費				773,505	
農薬費				565,006	
殺虫剤					
殺菌剤				49,070	
殺虫殺菌剤					
除草剤				515,936	
その他					

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

4 光熱動力費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）				はだか麦 負担割合 （%）
購 入（計）			—	万	千	百	十	
動 力 燃 料	重 油		L					
	軽 油	970	L	1	0	4	7	25
	灯 油	453	L		3	3	0	15
	ガ ソ リ ン	135	L		1	8	0	15
	潤 滑 油		L		2	7	6	15
	混 合 油		L					
電 力 料			—		4	0	6	15
そ の 他 （水道料、木炭などの燃料）			—		1	3	5	15
自 給	薪	20	kg					15

5 諸材料費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）				対象品目 負担割合 （%）
購 入（計）			—	万	千	百	十	
				1	6	0	0	25
自 給	なわ	10	m					25

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、動力光熱費の補助科目として「重油」、「軽油」等を設定しています。
なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、
共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
肥料費				773,505	
動力光熱費				237,689	
重油					
軽油				104,760	
灯油				33,069	
ガソリン				18,090	
潤滑油				27,600	
混合油					
電力料				40,670	
その他				13,500	
諸材料費				16,000	
育苗用土					
その他					

自給資材について

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P 8

6 賃借料及び料金

料 金 名 等		数 量 等	単 位	金 額 （ 円 ）				目負担割合
計			—	万	千	百	十	
負担共同金	薬 剤 散 布		—	7	0	1	0	2 5
	共 同 施 設		—					
	農 機 具 借 料		—	1	1	3	0	1 5
	航 空 防 除 賃	1402.0	a	2	1	0	3	2 5
	賃 耕 料		a					
	は 種 ・ 定 植 料		a					
	収 穫 請 負 わ せ 賃		a					
	乾 燥 調 製 料	10100	kg	1	6	1	6	1 0 0
	そ の 他		—	9	7	0	0	2 5

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料並びに作業委託料の補助科目として共同による
「薬剤散布共同負担金」「航空防除賃」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
賃借料				183,100	
薬剤散布共同負担金				70,100	
共同施設負担金					
共同苗代負担金					
農機具借料				113,000	
その他					
支払 地代					
作業委託料				381,600	
航空防除賃				210,300	
賃耕料					
は種・田植賃					
収穫請負わせ賃					
乾燥調整料				161,600	
その他				9,700	

数量の入力

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P9

1 物件税

区 分	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)	8 3 0 0 0	1 0
固定資産税 (農機具)	1 5 0 0 0	1 5
不動産取得税 (土地以外)		
自動車取得税		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

2 公課諸負担

区 分	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集 落 協 議 会 費 (地域集落等の会費)	4 5 0 0	2 0
農 業 協 同 組 合 費	6 0 0 0	2 0
農 事 実 行 組 合 費 (麦作部会等の各種部会費)	8 5 0 0	2 0
農 業 共 済 組 合 賦 課 金	1 6 0 0 0	2 5

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、物件税並びに公課諸負担の補助科目として「固定資産税」「自賠責保険」等
を設定しています。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑
作で負担したと見なしています。
なお、自動車に関する物件税（自動車重量税、自動車税、軽自動車税）は、調査票11ページ
の【8】自動車の所有状況に記入してください。

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課				133,000	
固定資産税・建物				83,000	
固定資産税・農機				15,000	
自動車取得税					
水利地益税					
都市計画税					
共同施設税					
自動車保険料					
軽・自動車税					
自動車重量税					
自賠責保険					
集落協議会費				4,500	
農業協同組合費				6,000	
農事実行組合費				8,500	
農業共済組合賦課金				16,000	

【5】土地改良及び水利費

調査票 P9

1 土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額（円）										対象品目 負担割合 （％）					
	維持負担金					償還金										
				万	千	百	十			万	千	百	十			
ほ場整備事業				1	4	0	0	0				7	0	0	0	20
農地開発事業				2	2	0	0	0								20
かんがい排水事業				1	2	0	0	0								20
農道整備事業																
その他（整地、表土扱 いのない事業）																

2 水利費等

費用名	対象品目作付ほ場負担金額（円）										対象品目負担割合（%）
			万	千	百	十					
水利に係る費用計			6	5	0	0					20

土地改良区費及び水利費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、土地改良水利費の補助科目として「ほ場整備事業維持負担金」「水利組合費」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
土地改良水利費					
ほ場整備事業				14,000	
農地開発事業				22,000	
かんがい排水事業				12,000	
農道整備事業					
その他（整地・表土扱いのない事業）					
水利組合費				6,500	
揚水ポンプ組合費					
その他					
~~~~~					
[営業外損益の部]					
【営業外収益】					
ほ場整備事業償還金				7,000	



【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査票 P9

資金名（用途）		調査開始時 未償還残高（円）					支払利子額（円）					対象品目 負担割合 （％）
		万	千	百	十	円	万	千	百	十	円	
借入金	計											
	△△資金 （トラクター用）	3	2	5	0	0	4	2	0	0	0	1 5
	××資金 （コンバイン用）	6	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1 5
買掛未払金		3	0	0	0	0						2 0

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と今期の合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、長期借入金及び利子割引料の補助科目として「△△資金（トラクター用）」、「××資金（コンバイン用）」等を設定しています。

貸借対照表		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（％）
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【流動負債】					
買掛金				30,000	
短期借入金					
【固定負債】					
長期借入金				3,850,000	
△△資金（トラクター用）				3,250,000	
××資金（コンバイン用）				600,000	

借入金（支払利子）

損益計算書		全部門			
[営業外損益の部]					
【営業外費用】					
利子割引料				64,000	
短期借入金利子					
長期借入金利子					
△△資金（トラクター用）				42,000	
××資金（コンバイン用）				22,000	



【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査票 P10

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	新 区 古 分 新 築 中 古	耐用 年 数 (年)	取得年月		取得価額 (円)  購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤 強化準備金 (円)  建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 (円)  当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 (円)  当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	対象 品目 負担 割合 (%)	年内異動状況	
						年 (西暦)	月						異動 コード	異動に伴う発生金額 (円)  売却金額、取り壊しの金額
負担割合の変更の例	1	納屋	3	6	○		2005	9	1300000		50000		25	
共同所有の例	2	車庫（4戸で共同所有）	8	5	○		1980	8	1300000				10	
準備金使用の例	3	倉庫	1	3	1	○	2015	2	3000000	3000000			10	
新築の例	15	納屋（新築）	3	6	○		2020	6	3000000				10	

建物等の取得年月と取得価格（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。  
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表									
コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要					取得価格	普通償却額	売却価額	
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	交付金等 差引取得	割増特別償却額	売却損益	売却損益
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	当期償却費計 償却費累計	期首帳簿価額	期末帳簿価額
1 農業 建物	納屋					130,000			
	2005/9								
2 農業 建物	車庫（4戸で共同所有）					130,000			
	1980/8								
3 農業 建物	倉庫					300,000			
	2015/2								
4 農業 建物	納屋（新築）					300,000			
	2020/6								

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「車修繕費」等を設定しています。  
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て  
畑作で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	